

29年7月分

問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

1. 調査実施期間

平成29年 7月1日～ 29年7月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
7月分の回答企業数は45社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/7月	8月	9月
仕入動向	国産材	△ 10.0	△ 15.7	11.8
	外材	△ 13.4	△ 15.9	△ 1.3
販売動向	国産材	△ 10.0	△ 11.4	11.8
	外材	△ 6.1	△ 13.4	5.0
在庫動向	国産材	△ 17.1	△ 17.1	1.5
	外材	△ 18.8	△ 13.8	△ 7.7

・国産材の仕入動向は7月、8月の減少から9月は増加に。外材は3カ月連続の減少。

・国産材及び外材の販売動向は7月、8月の減少から9月は増加に。

・国産材の在庫は7月、8月の減少から9月は増加に。外材は3カ月連続の減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	29/7月	8月	9月
スギ正角(グリーン)	△ 4.0	△ 2.0	0.0
スギ正角(KD)	△ 1.9	1.9	5.8
ヒノキ正角	3.3	3.3	5.2
ヒノキ土台角	6.9	6.9	8.9
米ツガ正角(現地挽)	4.2	4.2	2.2
米ツガ防腐土台角	1.9	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	1.9	1.9	2.1
米マツ平角	1.8	1.9	3.8
北洋アカマツタルキ(現地挽)	10.9	3.3	△ 3.4
ホワイトウッド集成管柱	3.4	1.8	0.0
レッドウッド集成平角	19.0	8.6	5.8
型枠合板(輸入)	19.2	21.2	17.4
針葉樹構造用合板	5.8	11.5	10.9
針葉樹構造用合板(厚物)	2.1	6.3	10.9

・スギ正角(グリーン)の価格動向は7月、8月の弱含みから9月は横ばいに。KDは7月のやや弱含みが8月、9月はやや強含みに。

・ヒノキは正角及び土台角ともやや強含み。

・米ツガは正角、土台角、割物及び米マツ平角はやや強含み。

・北洋アカマツタルキ(現地挽)は7月、8月の強含みから9月はやや弱含みに。

・WW集成管柱及びRW集成平角はやや強含み。

・輸入型枠合板及び針葉樹構造用合板はともに強含み。